

傍聴席から ひとこと No. 61

みんなの「声」 No. 19

町民の生活向上に 繋がることを期待

よこた きいちろう
横田 喜一郎 さん

かつては2万5千人以上あった人口も今では1万4500人程度にまで減ってしまいました。震災以前から人口減少の傾向は続いていたのです。「跡継ぎだから家に残る」は昔の話になりました。

魚が獲れなくなり、町の基幹産業である漁業が衰退し、加えて少子高齢化です。

町のにぎわいは薄れましたが、嘆いてばかりもいられないのです。町があり、そこに暮らす町民がいるのです。

課題は多いが、議会を傍聴していると感じているのです。

そのような町の現状をベースに、行政当局は町民生活維持向上のための各種施策を議会に提案し、また、議会議員諸氏も、提案された諸施策の最大効果を図るために中身を資し、あるいは日々の諸問題について、町民の代弁者として行政当局に提案して真意を問うのです。議員は行政の応援団員でもあるのです。

「何々だからできない、ではなく、どうすればできるか」を基本にした活発な議論を行い、議会と行政当局が車の両輪のごとく機動し、町民生活の向上につながることを期待して、これからもできる限り議会傍聴を続けていきたいと思ひます。

町民の皆さまからの町への提言、思いなどを紹介します。

表紙（1頁）に登場いただいた山崎さん家族にお話を聞きました。



左上から

ゆきの こうせい
夕紀乃さん、幸生さん

ひより そうい
日和ちゃん（4歳・長女）、壮偉くん（7歳・長男）

子育て支援に力を！

——町の良いところは

山と海に囲まれていて人柄がおおらかなところ。

——町に望むことは

少子化対策、特に子育て支援に力を入れて欲しい。各種大会開催時に町内の小中学校グラウンド等施設を使いやすくしてほしい。

——子どもに望むことは

健康でのびのびと育ててほしい。

あ
と
が
き

▼新型コロナウイルス発生から約3年の月日が過ぎました。第1波から現在の第7波まで、いつ終息するのか分からないコロナウイルスと現在も戦い続けていますが、その町民の皆様の努力と忍耐に敬意を表します。▼そんな中ではありますが、今年は規模が縮小していますが、3年ぶりに山田祭りが開催され、町民の皆様のにこやかな笑顔を見た時の喜びは、私一人だけでしょうか。早くコロナウイルスに打ち勝って、町民皆様に喜びを分かち合う日が、早く来ることを願っています。（昆清）

◆発行責任者

議長 昆 暉 雄

◆議会広報編集特別委員会

委員長 菊 地 光 明
副委員長 阿 部 吉 清
委員 阿 部 吉 清
委員 阿 部 吉 清

阿 部 吉 清
横 田 根 幸 一
豊 田 龍 一
阿 部 吉 清
昆 暉 雄